

LONG800_4

3401: 作 曲 者 のバグウェルは、^{あま}甘いメロディが得意で、その^{しんこっちょう}真 骨 頂^{しまうた}が島 唄です。

3402: 場数を踏んだシュテュルプナーゲルであれば、パヴロヴナとの^{せつしょう}折 衝^{へいき}も平気でしょう。

3403: クラブから^{はながた}花 形^かのトルクアートが欠けたことで、^{しょうりつ}勝 率^さが下がり、ファンも減ってます。

3404: ^{はなし}話 を聞く^き限^{かぎ}り、ショーウォーターが、モッツアグローニャに^{ほね}骨 を埋める^{うず}意思は、
^{ふめつ}不滅でしょう。

3405: シュトゥンプはチャラチャラしてますが、グントゥールで^{ぼうえきがいしゃ}貿 易 会 社^{いとな}を 営 んでいます。

3406: コリヤードの^{ひらめ}閃 きは^{きじょう}机 上^{くうろん}の空 論で、^{じつげんふかのう}実 現 不 可 能 である^{のぞ}こ 事^{かんべき}を除けば完 壁です。

3407: サピエジナが、^{ごういん}強 引^{けいやく}に契 約^{はくし}を白紙^{もど}に戻し、^{たがく}多 額^{いやくきん}の違 約 金^{はら}を払うそうです。

3408: 奈良のベルトウスと、イエヴレのイエシエンは、^{いちねんまえ}一 年 前^{とも}からのメル 友ですって。

3409: ギッフェンは^{せんもん}フオビアが専 門^{もっぱ}で、^{せんもん}専 門^{もっぱ}らゼノフオビアについてリサーチしています。

3410: デュルテュは、^{きんぞくごじゅうねん}勤 続 五 十 年^{め ざ}を^{しよぞん}目 指 す 所 存^いと言いましたが、^{さすが}流 石^{むり}に無理ですよ？

3411: テョやテャをコーパスに入れることへ^い批 判^{ひはん}があり、それは^{ただ}正 しい^{おも}と思います。

3412: ストゥラーロは^{ふしゆ}リンパ浮腫^{なや}に悩まされ、^{びょういん}病 院^{きんしゆ}で禁 酒^{げんりよう}と減 量^{し じ}を指示されました。

3413: ディシュリエンコヴィッチは、^{かお}顔 に^{け が}怪 我^もをしたが、それでも^もイケメンだと^{はや}持 持^{はや}て囃 されます。

3414: ^{ちょちく}貯 蓄^{かね}したお 金^{じーびーゆー}で、^{そな}ヒューレットパッカートの^{びーしー}G P U^かを備 えた P C を買います。

3415: ^{さくじつ}昨 日^たは^{あす}ゴルツェーニョで^{てん}フレンチを^{しょうう}食 べ た^{しょうう}ので、明日は^{しょうう}天 ぷ ら^{しょうう}を 所 望 しておられます。

3416: バビヤコヴァーのフィールドワークを^{しん}信 じる^ちなら、この^ち地 に^{みささぎ}陵 があつたそうです。

3417: ミュールビュに住み九年、^すツィンツァーゼは、^{くねん}根 差^{ね ざ}した^{しゅじゅぎった}種 々^{ぶんか}雑 多 文化を
^{らいさん}礼 賛 しています。

3418: 大 分 で、^{おおいた}パ ー ソ ナ ル ウ ォ ー タ ー ク ラ フ ト の^{みが}パ フ ォ ー マ ン ス を、^あ磨 き 上 げ ます。

- 3419: 鉄砲^{てっぽう}を発射^{はっしゃ}した後の硝煙^{あと}反応^{しょうえんはんのう}に、シャーウィンは少なからず焦^{すく}りを見せました。^{あせ}^み
- 3420: テュレンヌが直向き^{ひたむ}に頑張^{がんば}っている頃^{ころ}、ブービエはゴロゴロとポテトチップスを
食^たべてました。
- 3421: 度胸^{どきょう}が据わったフェアフォードは、グリュミオーの無茶^{むちゃ}なミッションもクリアしました。
- 3422: ほう、アルティテュードの鰻屋^{うなぎや}で働^{はたら}いていたけど、怠^{なま}けてたらクビになったって？
- 3423: ウェストバージニア^{しゅう}州^{しゅう}でスマホを水没^{すいぼつ}させたそうですが、データ復旧^{ふつきゅう}できました？
- 3424: 梅雨^{つゆ}でジメジメした日が続^ひくと、雑菌^{つづ}が増殖^{ざっきん}することを、フィニシーは知^{ぞうしよく}りません。^し
- 3425: ちょっとお嬢^{じょう}さん、スプーンとフォークの機能^{きのう}を両立^{りょうりつ}した、
スポークがお買^かい得^{どく}ですよ。
- 3426: ほほう、だからボンキェビッチは、白^{しろ}のウエディングドレスと、
ティアラに固執^{こしつ}したのですね。
- 3427: フュースリーは靴^{くつ}のコレクターで、これまでビスポークで五足^{ごそく}は作^{つく}っています。
- 3428: ミヒエルシュタットから逃^{とうそう}走^{ひぎしや}した被疑者^{ほびく}を、ライヒェルスハイムで捕縛^{ほびく}しました。
- 3429: 樹齡^{じゅれい}五百年^{ごひゃくねん}の巨木^{きよぼく}を前^{まえ}に、グウルリッチは次回作^{じかいさく}のインスピレーション^えを得^えました。
- 3430: ヴヴォルントは、下^{した}端^ばへの褒美^{ほうび}として、高^{こう}額^{がく}なシェアウェア^{むしゅう}を無償^{くば}で配^{くば}りました。
- 3431: ヴェロラヴェツキアの家^{いえ}は、ちゃん^{はしら}と柱^{ふと}が太^{じょうぶ}く丈夫^{ひゃくねん}で、百^す年^すでも住^すめそうです。
- 3432: 塾^{じゅく}の同期^{どうき}のシェストフとドゥフォは、二年^{にねん}前^{まえ}からトップクラスで主席^{しゅせき}を争^{あらそ}ってます。
- 3433: 画伯^{がはく}として名^なを馳^はせたデュベは、評論^{ひょうろん}番組^{ばんぐみ}のレギュラー^ひに引^ひ張^ばりだこです。
- 3434: 発音^{はつおん}が難^{むずか}しいヴァヴィヴヴェヴォの文字^{もじ}を、厚手^{あつで}の布^{ぬの}に刻^{きざ}んで練^{れんしゅう}習^{しゅう}に励^{はげ}みます。
- 3435: ヘンドリッキエがあっさり敗^{やぶ}れたが、あれは策士^{さくし}策^{さく}に溺^{おぼ}れるってやつですよ。
- 3436: ありきたりな武勇伝^{ぶゆうでん}は結^け構^{こう}、デュラーズの蹉跌^{さてつ}を聞^ききたいものですな。

3437: おしょう 和尚はゲーム機^{き なん}を何でもファミコンと呼んでたが、ある日^ひからプレステと
よ はじ
呼び始めました。

3438: にし おやだま 西の親玉はホミヤコフ、ひがし おやだま 東の親玉はデュソトワールで、じつりよくはくちゅう 実力伯仲です。

3439: かみがか エフエンディエフの神懸ったソプラノには、すがすが 清々しい心地よさを感じます。

3440: ひとりに ヴェルナツツアに一人逃げてきたキャロッティが、まいにちなみだ 毎日涙をこぼしてます。

3441: ギネスは、ファイルフォーマットしたドゥラッツォを^{ねぎら} 労い、
せいりょうざい いっこ
清涼剤を一個あげました。

3442: え ブルツォツォフスキが得たストックオプションは、ね あ
いまいち 値を上げ、
かち ごばい
いまや価値は五倍です。

3443: わす ゲオルギェヴィチは、ぬ てぬぐ 濡れた手拭いで拭く羽目になりました。

3444: おす めす まいにちなんかい か チョークバスは、雄と雌が毎日何回も変わると、ニュースでやってました。

3445: じょうけん 条件に、い か こ じぶん 心^{こころ}の底^{そこ}から^{いまし} 戒めたいです。

3446: ふくし じゅうじつ 福祉の充^{じょうしきてき}実^{じゅうよう}は、常^{かなら}識^{どうい}的に重^{じゅう}要^ぎですが、ウォリックは必^{かなら}ずしも同^{どうい}意^ぎしません。

3447: すば デュムシュのキャラクターボイスは素晴らしく、き 聴くとホワホワ癒されちゃうんです。

3448: き た ちんぷ こうしゃく 聞くに堪えない陳腐な講^{せきばら}釈^{はなし}に、デュバルはわざと咳^{せき}払い^{こし}をして、話^おの腰^{こし}を折りました。

3449: ぼこく はな はやごねん シェメルが母国を離れて早五年、こい じき 恋しい時期になりました。

3450: げん かつ たち う あ まえ ひゃくどまい か ヴィンセンツォは験^{げん}を担^{かつ}ぐ質^{たち}で、ロケット打ち上げ前に、百度参^{ひゃくどまい}りを欠^かかしませぬ。

3451: おっと 夫はセパタクローのプロですが、す いんたい なや すでにピークは過ぎ、引退するか悩^{なや}んでます。

3452: ちゃくそう おもしろ じっそう ぼんよう すんびょう シュテヒャーの着^{ちゃく}想^{そう}は面白^{おもしろ}かったが、実装^{じっそう}が凡庸^{ぼんよう}なので、寸評^{すんびょう}はイマイチでした。

3453: お めだ ジャドゥゴダで、ゴールドラッシュが起きるなど、目立ちたがりなヘルツォークの
ぼうげん
妄言^{ぼうげん}ですよ。

3454: まさか、プロウヴォウストと、シェヌーダが癒^ゆ着^{やく}していたとは、想^{そう}定^{てい}してませんでした。

3455: ビェログラツキーには、クレ^{しゃ}射^げ撃^きの妙^み手^{よう}という顔^{しゆ}と、

怪盗^{かいとう}という裏^{うら}の顔^{かお}があります。

3456: 超^{ちよう}巨^{きよ}大^{だい}な魚^{さかな}が釣^つれたと、ラヴェルナリヴは思^{おも}わず魚^{ぎよ}拓^{たく}を取りました。

3457: ヒュペレーノールが自己破産しましたが、まさに悪^{あく}銭^{せん}身^みに付^つかずの典^{てん}型^{けい}でしたね。

3458: 是非^{ぜひ}もないフェイク情^{じよう}報^{ほう}に踊^{おど}らされてから、ドゥメンツァでは若^{わか}者^{もの}が萎^い靡^びしてます。

3459: ズヴェーヴォは退^{たい}路^ろを断^たち、チャームクォークの論^{ろん}文^{ぶん}の考^{こう}察^{さつ}部^ぶを、書^かき綴^{つづ}ります。

3460: キプロスの漁^{ぎよ}港^{こう}に、難^{なん}破^ぱしかけたデュポンの漁^{ぎよ}船^{せん}が、救^{きう}援^{えん}を求^{もと}めやってきました。

3461: ブルデューは、オッドビヨルンと戦^{たたか}うギャンブルについて、取^とり決^きめを交^かわしました。

3462: フィツォフスキ開^{かい}発^{はつ}のバイクは、加^か速^{そく}が凄^{すさ}まじく、時^じ速^{そく}百^{ひゃつ}キロまで四^{よん}秒^{びよう}です。

3463: ドウルベッコは脛^{すね}を強^{きよう}打^だして出^{しゅ}血^{けつ}し、血^ちでズボンが赤^{あか}黒^{くろ}く染^しみてきました。

3464: フレシイエでは及^{およ}びがたい任^{にん}務^むでしょうが、ドヴォルザークなら造^{ぞう}作^さもないでしょう。

3465: ヴォグルナールはとても足^{あし}が速^{はや}く、チェスケー・ブジェヨヴィツェでもトッ^とッ^っク^くラスです。

3466: フェイントをかけた途^と端^{たん}ビョーラーのガ^あードが甘^{あま}くなり、

ピョジュのジャブが当^あたってますよね？

3467: ジェルミニャーガで快^{かい}拳^{きよ}を遂^とげた、ベネディクツツォンは、羨^{せん}望^{ぼう}されると同^{どう}時^じに、

妬^{ねた}まれもします。

3468: バティストウータは、爽^{さわ}やかな香^{かお}りのフレグランスを寢^{しん}室^{しつ}に置^おき、安^{あん}眠^{みん}しています。

3469: エデュケーションの意味^いは教^き育^{いく}だが、下^へ手^たに横^よ文^{こも}字^じを使^{つか}うと、

却^{かえ}って受^うけ手^てを煩^{わずら}わせます。

3470: 別に、シュヴェンチヨニスとの摩擦とかじゃなく、常連客との守秘義務だから
言えないのです。

3471: 我々が組織に来た以上、まずはシェカールへの拝謁を済ませるべきです。

3472: そろそろ、グォやグェ、グウやデェを含める条件を、妥協する許可を乞うたが、
却下されました。

3473: モショヴツェの薬剤師が処方した、顆粒の薬には、劇的な効き目がありました。

3474: ムシェズィプは、座主の意味を調べているが、事例が少なく困っています。

3475: 美男美女を集めた企画ですが、細工は流々仕上げを御覧じろってやつですよ。

3476: スイミヨーンが築いた要塞は、物理攻撃に強い一方、トロイの木馬に脆弱です。

3477: リアルミュートは、計算機によるテキスト朗読ソフトウェアに、造詣が深いです。

3478: ウオロビョワがディナーコースを調理中で、メニューにはブニュエロも含みます。

3479: キャロウェイは、北国育ちで汗腺が未発達のため、熱中症に気を付けてます。

3480: チェコの長閑なエリアで、ビョルリングは、紫の花に特化して売り捌いていますよ。

3481: ビュロとオロウォキャンディが、ウォーリッチと激しく対立して、ハブられました。

3482: ペリニョンなら、隔月でも連載できるチャンスを、むざむざ逃さないでしょ？

3483: 大和君は、留学後にペヴェラーニョへの就職を、強く希望してます。

3484: カゾレッツォが、標高五千メートルにある荒野を開拓すべく、立ち上がりました。

3485: かつての人形劇、ミューミューニャーニャーを、身銭を切っても蘇らせたいです。

3486: タルクィニウスは、投薬期間が延びて、引き続きファボワールが処方されました。

3487: グェンフォアの借金、キャリアオーバーで繰り越された宝くじのあたりで、
相殺できます。

3488: はがね つるぎ き 鋼 の 剣 で 斬られたら、メツチャ いた ち 痛いし血もピューって出るんだろーな。

3489: けんりよくしゃ 権 力 者 が、グウィネスの ちめいてき 致命的なスキャンダルを揉み消すよう、
めいれい 命令しました。

3490: けんびきょう み 顕 微 鏡で見れば、ピャエが見出した 奇 妙 な 特 質 が、わかと おも 思います。

3491: エリートのミョンウォンが理想とした 学 び の 園 は、ストゥデニツァにありました。

3492: ドゥフチュは、ちよくぞく じょうし 直 属 の 上 司 から 負 荷 を かけられすぎ、ついに かるう たお 過 労 で 倒 れ ちゃいました。

3493: ラナンキュラスの 花 言 葉 が は な こと ば あらわ い み ひと 表 す 意 味 の 一 つ に、は みりよく 晴 れ や か な 魅 力 が 有 る ぞう ぞう そうです。

3494: ディアヴォレッツァで ぞうなん あくむ 遭 難 する 悪 夢 に、め ぎ め ぎ として目覚め、あせ 汗 が ビ ッ シ ョ リ です。

3495: クウは も げきじょう 燃 える 激 情 を まなざ や ど 眼 差 し に 宿 し、とう む シェラン島 ヒョンネスルヴに 向 かい ます。

3496: そぜい かいひ 租 税 を 回 避 する こと は 無 理 な の で、む り パトリツィアは せつぜい 節 税 でき ない か、じゅくりよ 熟 慮 して ます。

3497: ベアルツォットは、しゅうじ まな 習 字 を 学 び、かいしよ なんど か 楷 書 で テ ャ と 何 度 も 書 き ました。

3498: ぞう く モンゴンゴは、象 に 食 わ れ 分 布 帯 が ひろ 広 が った と、ルサリョーのドキュメントに
きじゅつ 記 述 が あり ます。

3499: どきょう か と ドニェプロフは、読 経 の 書 き 取 り を こころ 試 み た が、き と ほぼ ほぼ 聞 き 取 れ ませ ン で し た。

3500: ひとじち ひ ばた きゅうしゅつご ハーシェミーは、グアラパリで 人 質 と な り、引 っ 叩 か れ た が 救 出 後 に
ちりょう 治 療 さ れ ま し た。

3501: しんきんこうそく な オセパンが 心 筋 梗 塞 で 亡 く な り、ひとめ はばか ごうきゅう ロビーニョが 人 目 も 憚 ら ず 号 泣 し た。

3502: まつ あおもり フニャディは、ロマンティックな 祭 り より、青 森 ね ぶ た など、
すご だしまつ この 凄 み が 有 る 山 車 祭 り を 好 む。

3503: おぼ いらい やまは くらが アングィラのビーチで 溺 れ た ニ ョ ン ガ ボ は、それ 以 来 す っ か り 山 派 に 鞍 替 え し た。

3504: きゅうしよ いちげきくわ くつきょう 急 所 に 一 撃 加 え れ ば、屈 強 な ヴ ウ オ ジ ミ ャ シ ュ だ っ て ノ ッ ク ダ ウ ン す る さ。

- 3505: キニョーネスのポイズンアタックは、^{ちょうえつ}超^{そうりょ}越^{きよ}した僧侶が^{いがい}清^{げどく}める以外、解毒できない。
- 3506: 残り^{のこ}五^ご百^{ひゃく}円^{えん}で、キャンフィールドの^{いちがつぶん}一^{こづか}月^{こかつ}分のお小遣いが、枯^こ渴^{かつ}してしまう。
- 3507: マジで、ネマツァデェは^{かたず}固^の唾^つを飲んで、セビリャの^{ごうひはんていけつ}合^ま否^{めい}判定結果を待ってるの？
- 3508: フォーリャの鶴の^{つる}一^{ひとこえ}声^{こえ}で、ピュエルが^{せんしゅつ}グランプリに選^{せん}出^{しゅつ}ってオフレコだっけ？
- 3509: 授^{じゅぎょうりょう}業^{たいのう}料^{つづ}の滞^ち納^{なう}が^{そつぎょう}続^{あや}くなら、シュマイヒェルは、卒^{いぜん}業^{えい}が危^いぶまれる以前に
^{じよせき}除^{じよ}籍^{せき}だぜ？
- 3510: ザリヤジュコに、アクティブノイズコントロールで^{じゅうよう}重^{ぎゃくいそう}要^{りやくせつ}な、逆^{ぎゃく}位^い相^{さう}のみ略^{りやく}説^{せつ}した。
- 3511: ホイビェアに^{がくれき}学^{がく}歴^{れき}コンプレックスはないが、^{がくしゃ}学^{むり}者^{じかく}のポスは無^む理^りだと自^じ覚^{かく}している。
- 3512: マルベールリャの平和を守^{へい}る^{まも}ためには、^{ぐんじりよく}軍^{きょうか}事^{ふかけつ}力^{りき}の強^{きやう}化^かは不可^ふ欠^{けつ}だろう。
- 3513: 俺^{おれ}がべらべら^{しゃべ}喋^{しゃ}るより、キャヴェンディッシュの^{よろこ}ほうが、キャリーズも喜^{よろこ}ぶだろう。
- 3514: シュヴィルツォクの^{けいれきさしやう}経^は歴^つ詐^さ称^{しやう}が発^は覚^{かく}し、^{ざんねん}残^{じよせきしよぶん}念^{くだ}だが除^{じよ}籍^{せき}処^{じょ}分^{ぶん}が下^{くだ}った。
- 3515: ^{じんこうげんしやう}人^{ともな}口^く減^{げん}少^{しやう}に伴^{ともな}い、トルメッツォでも、^{しちやうそん}市^が町^{つべい}村^{さいへんせい}の合^{はじ}併^{へい}など再^{さい}編^{へん}成^{せい}が始^{はじ}まる。
- 3516: ツァツォスのアプリで^{さつえい}撮^{かお}影^{きやう}すると、^{きよくたん}顔^{がん}が極^{きよく}端^{たん}に^{きよくたん}ディフォルメされるのは、
^{しやう}バグではなく仕^し様^{やう}だ。
- 3517: コーパス文のエントロピー^{ぶん}向^{こう}上^{じやう}に向^むけ、クアとクォ、テャとデャを入れる^い作^{さぎやう}業^{ぎやう}が、
^{つづ}ま^{つづ}だ^{つづ}ま^{つづ}だ^{つづ}続^{つづ}く。
- 3518: ジェルズィニス키는、ベッドフォードシャーで、^{ちゅう}ウインドショッピン^{つま}グ中^{ちゅう}の妻^{つま}を
^み見^みかけた。
- 3519: イヴォーギュンの^{からくち}辛^げ口^きコメン^きトは、^{げきれい}激^{げき}励^{れい}でもあるから、^{しんし}真^む摯^あに向^むき合^あいたまえ。
- 3520: レバーを手^て前^{まえ}に^{かたむ}傾^{かたむ}けると^{ひら}タイ^{ひら}ムカプセルが^{らくが}開^{らくが}き、グローテヴォールの^で落^で書^できが^で出^でてきた。
- 3521: ^{らんぺき}藍^{らん}碧^{ぺき}の^つピアスを付^つけた^つシェステルニョフが、^{まんきつ}スキューバダイ^{まんきつ}ビングを満^{まん}喫^{きつ}した。

- 3522: ギヤスパ^{あた}の^{せいえん}温かい^{けつだん}声援で、コンパニョーニはカムバックを決断した。
- 3523: フィッティパルディのディスコグラフィについて、知っていることがあれば、
ぜんぶはな
全部話してくれ。
- 3524: ヒューウェルは^{はっぽうふさ}八方塞がりだったが、^{あくまでききしゅ}悪魔的^{かつろ}奇手^{みいだ}で活路を見出した。
- 3525: ピエリーナは、^{ごうがんふそん}傲岸不遜な^{みき}ヴィチーニョに見切りをつけ、ラインをブロックした。
- 3526: このリゾート地は^ちシルク^お推し^{けんし}で、^{おりもの}繭糸^{つく}から^{こうてい}織物^{けんぶつ}を作る工程まで見物できる。
- 3527: コヴァチェフツィは^{まえまえ}前々^{あつ}から^ひ暑い^{なんごくそだ}日ばかりで、^{こた}南国^{こた}育ちのガデーリヤでも堪える。
- 3528: シェルミティは、^{りんじん}隣人^おとの^あ折り^{わる}合い^たが悪く、^の立ち^つ退くことをオーナーに告げた。
- 3529: アルタンツェツェグは、^{さどうぶ}茶道部^{でしい}に^{きもの}弟子^{せいざ}入りし、^な着物や^な正座などにも慣れてきた。
- 3530: シュコツィアンのアーティストにオーダーした^{いす}椅子^{かざい}で、^{ととの}家財^{ととの}がようやく調った。
- 3531: ギルフォードは、^{りゅうがん}竜^{かじつ}眼^{きゅうこか}の^{あさ}果実^{さつそくよんこ}を^{しょくご}九個^{しょくご}買い^{しょくご}漁り、^{しょくご}早速^{しょくご}四個^{しょくご}を食後のデザートとした。
- 3532: オクオーカのドラゴリューブは^{かもく}寡黙^{ひとがら}な人柄だが、^{はなし}話^{さえぎ}を^{げきど}遮られると激怒する。
- 3533: フランティシェクの姉さんは、^{ねえ}フェットウチーネと^{つか}ニョッキ^{りょうり}を使った料理^{こうぶつ}が好物だ。
- 3534: 秋の^{あき}テュアラティンで^{ひら}開かれた^{じゅんい}カーレース^{ろんびょう}の順位^{ろんびょう}を、ザンビエックが論評した。
- 3535: デッシィが探り当てた^{さぐ}古代^あの^{こだい}巻物^{まきもの}によると、^{まもの}魔物^{した}はこの^に下^こに逃げ込むはずだが。
- 3536: グウィネズがパーティに^{せんぬ}栓抜き^{わす}を忘れ、^{ちかば}グラッツィーニ^{さかや}が^{はし}近場の酒屋^{はし}に走った。
- 3537: 清水さんは^{しみず}トゥルーエンド^{めざ}を目指しているが、^たフラグ^{わす}の^{ふくすう}立て忘れ^{ふくすう}が複数ある。
- 3538: ヴォイツェックは、^{ちょう}超^つが付くほど^{せつやくず}節約好き^かで、^{わりびきりつ}シェイク^きを買うにも割引率^きを気にする。
- 3539: ブトラゲーニョは、^{ちゅう}ヴィニャーテ^{ちゅう}でのセレモニー中に、
- ^{たいきん}大金^{はい}が入った^{しゅうとく}ウォレット^{しゅうとく}を拾得した。
- 3540: ^{かぜかお}風薫る^{しょか}初夏^{きかく}に、^{おもしろ}キャンプファイヤー^{きやく}を企画するの面白^{あつ}いが、^{ぎもん}客が集まるかは疑問だ。

- 3541: ヴッパータールのブティックで、伝^{でんびょう}票^かに書かれた金^{きん}額^{がく}を見て、手^て持^もちを危^き惧^ぐする。
- 3542: セミ^{あり}ヨーンは、蟻^すの巣^{まいあさ}を毎^{まいあさ}朝^{かんさつ}観^{せい}察^{ほん}し、製^{てい}本^{いし}してマニ^{ゆつ}ョンガに提^{てい}出^{しゅつ}した。
- 3543: 普^ふ段^{だん}と違^{ちが}う小^こ洒^{じゃ}落^れた服^{ふく}を着^きたイエリサヴェータは、かつてプロの女^{じょ}流^{りゅう}棋^き士^しだった。
- 3544: グア^てツツオーニは、キズ^てリヤルの手^て品^こバ^{とう}ーで、手^ての込^こんだ透^{とう}視^しマ^しジックに感^{かん}銘^{めい}を受^うけた。
- 3545: 旅^り客^よ機^きの機^き内^{ない}食^{しょく}は国^{くに}により様^{さま}々^{ざま}だが、どこでもファ^ふースト^あクラスだけ^くは別^べ格^{っかく}だ。
- 3546: 歌^か謡^{よう}曲^{きょく}の時^じ代^{だい}は、シー^{ちゅう}ディー^{しん}よりも、テー^{ちゅう}プ^{しん}やレ^きコ^きードが中^{ちゅう}心^{しん}だったと聞^きく。
- 3547: フ^{とく}ジッ^{しゅ}トは特^{へん}殊^{せい}部^あ隊^{くる}を編^{ぼう}成^とし、荒^{ちん}れ^{あつ}狂^{あつ}う暴^あ徒^つをスピー^{ちん}ディー^あに鎮^{ちん}圧^あした。
- 3548: カ^てヴェ^まニヤ^はックが手^ふ間^ゆを省^{げん}くた^{かん}め、冬^みの玄^{かん}関^みに蜜^{ほう}柑^ちを放^こ置^おして凍^こらせた。
- 3549: ボ^みル^{りょく}ヒヤ^{ちゅう}ルトの魅^い力^{たか}は、長^と身^とを活^{たか}かし高^とく跳^とぶ、ヘ^{たか}ディ^とングでの
ハ^とット^とリ^とックだけじゃないぞ？
- 3550: ブラ^さツェ^みットが五^さ月^み雨^だ式^{れき}にメ^おールを送^くり、ア^おンド^くリュ^くーがう^くんざ^くりして^くる。
- 3551: スイ^{じゅ}ロ^つヴィ^つーが、バイ^{さい}パス^{いしゅ}術^{しゅ}でグラ^{しゅ}フト採^{しゅ}取^いに失^{しゅ}敗^いし、
術^{じゅ}式^つ変^{しゅ}更^きを余^よ儀^ぎなくさ^きれた。
- 3552: プ^りリ^ふツェ^{じん}ルは、理^き不^{きゅう}尽^{よく}な給^さ与^{くさ}格^ぜ差^{せい}を是^ひ正^こすべく、ツ^ひェ^こーザ^こリを引^ひき込^こみ
理^り事^じ長^{ちやう}に掛^かけ合^あった。
- 3553: ア^{けい}ニ^どョ^どルは軽^{しょう}度^いのコミ^{いわ}ュ^{せき}障^{さん}だ^かが、ギャ^とメルを祝^こう席^しでは、参^{さん}加^か者^{しや}に溶^とけ込^こめた。
- 3554: 咄^{とつ}嗟^さの機^{きてん}転^{てん}で、カ^ねマ^こグ^こウ^こエイのコン^あク^いールに捻^ねじ込^こめたが、相^あ手^てが桁^{けた}違^{ちが}い^がだった。
- 3555: ジュ^おゼ^わツ^わペがぼ^おー^わとしてボ^おトルを落^わとし、割^われはしな^わかったがヒ^{はい}ビが入^{はい}ってしま^{はい}った。
- 3556: テ^れュー^{きし}ヒ^{ねん}ヤ^{びょう}ース^{びょう}フェ^{びょう}ルトの歴^{れきし}史^{ねん}を年^{ねん}表^{びょう}にま^{ねん}とめ^{ねん}るホ^{ねん}ーム^{ねん}ワ^{ねん}ークで、
ブ^くヒ^{せん}ヤ^{せん}ーが苦^く戦^{せん}して^くいる。
- 3557: 表^{ひょう}に示^{しめ}した値^{あたい}を配^{はい}列^{れつ}に代^{だい}入^{にゅう}し、ティー^{けん}検^{てい}定^{ゆう}で有意^{いさ}差^さを確^{かく}認^{にん}しなさい。

- 3558: 根暗^{ねくら}のレーヴェンショルドは、同じ所属^{おな しょぞく}のキャピキャピしたパリピギャルに 憧^{あこが}れる。
- 3559: ウォンジェの陰謀^{いんぼう}で、ヒャンリは乗馬^{じょうばちゆう}中に 鎧^{あぶみ}が切れ落馬^{き らくば}したが、ケガはなかった。
- 3560: 忍^{にんじゃ}者を夢見るブローウェルは、手裏剣^{ゆめみ}や撒菱^{しゅりけん まきびし}、水蜘蛛^{みずぐも}の術^{じゅつ}をマスターした。
- 3561: ラファエルが背中^{せなか}を激しく打^{はげ}ってリタイアだから、モシーニョと交代^{こうたい}させよう。
- 3562: 嫁^{よめ}が病^{びょうき}気で入^{にゅういん}院^{ふじ}し、不治^{やまい}の病^{しゅじい}だと主治医^{こくち}から告知^{がくぜん}され、愕然^{がくぜん}とした。
- 3563: パトリシアは罰^{ばちあ}当たりな行^{こうどう}動^{おお}が多く、非科学的^{ひかがくてき}だが呪^{のろ}われそうに思^{おも}ちまう。
- 3564: イェスゲイは音響機材^{おんきょうきざい}にのめり込み、今^こは只管^{いま}ツイーターの改造^{ひたすら}に熱狂^{かいぞう}して^{ねつきょう}る。
- 3565: タルクイーニは、前髪^{まえがみ}を垂^たらした髪型^{かみがた}で、何^{なん}となくミステリアスな印象^{いんしょう}を受^うける。
- 3566: エドゥアルトは、事件当時^{じけんとうじ}アイヒャッハに帰省^{きせいちゆう}中で、真相^{しんそう}など知^しる由^{よし}もない。
- 3567: 家事手伝^{かじてつだ}いのデューラーが、有給^{ゆうきゅう}でプルウォケルトへ行^いくため、臨時^{りんじ}のヘルパーが欲^ほしい。
- 3568: ベデヤイは、そば^{どん}ろ井^たの食^すべ過ぎで、中性脂肪^{ちゅうせいしぼう}が正^{せい}常^{じょう}範^{はん}圍^いを超^こえた。
- 3569: デョルチョルで獰猛^{どうもう}な獣^{けもの}が脱走^{だつそう}し、外^{がい}出^{いしゅつ}が固^{かた}く禁^{きん}じられている。
- 3570: 奮^{ふる}ってご応募^{おうぼ}くださいとあるが、何^{なんびやく}百^{おく}と送^あっても、当^あた^{ため}った試^ししが^{ない}ない。
- 3571: それじゃ、怒^{いか}り狂^{くる}うラスボスに、破邪^{はじゃ}の剣^{つるぎ}で渾身^{こんしん}の一撃^{いちげき}を見舞^{みま}ってやりなさい。
- 3572: 臆病^{おくびょう}なクイーケグが力^{ちから}を出^だし切^きり、それでも勝敗^{しょうはい}は
- フィフティーフィフティーだろう。
- 3573: フェデリコは八極拳^{はつきよくけん}を始め、数^{はじ}か月^{すう}で発勁^{げつ}を極^{はつけい}めるレベ^{きわ}ルに達^{たっ}した。
- 3574: フィッツヒューは、次^{つぎ}に爆撃^{ばくげき}されるのはフォーリーニョ^{あた}辺^{よそく}りと予測^{げいげき}し、迎撃^{せいこう}に成^{せいこう}功^{こう}した。
- 3575: 一応^{いちおう}、東^{とう}京^{きやう}都^と世^せ田^た谷^こ区^く弦^{げん}巻^{まき}に、キルハヤーが潜^{せんぶく}伏^{ふく}してい^{かんし}ないか監^{かん}視^ししてくれ。
- 3576: 美食家^{びしょくか}のイルグオンは、トリュフ^あ、キャビア^あ、フォアグラ^あに飽^あき、カッパヌードル^あには^あまる。

3577: トロステャネッツに電話^{でんわ ふせつ}を敷設^{こうろうしゃ さが}した、功労者^さを探し、

ツェペシュ^{すいさつ}だと推察^{いた}するに至った。

3578: ギョームさん、まず新規作成^{しんきさくせい}をクリックし、適当^{てきとう}なファイル名^{めい}をタイプしよう。

3579: ブルヒャーがヌガーのことでトラブってたが、ここまでこじれると手の施^てしようがないぜ。

3580: テョギチの情^{じょうほう}報^でがロクに出てこないし、レポートはここまです^す済ますことにしよう。

3581: ハリケーンが直撃^{ちよくげき}し、セモニツェに設置^{せっち}する、モニュメントの建造^{けんぞう}を遅^{おく}らせた。

3582: アルフォンソは、見下^{みくだ}していたリーヒャーにボコボコにされ、プライドが砕^{くだ}けた。

3583: クヴァーケンブリュックでは、読書^{どくしょ}に親しむため、巨額^{した}を投^{きよがく}じ図書室^{とう}が整備^{としょしつ}された。

3584: シェヴェヒャートの英雄^{えいゆう}デメンチェワを前^{まえ}に、コビエジツカは、畏怖^{いふ}の念^{ねん}を抱^{いだ}いた。

3585: 旅行^{りょこう}先のチャウピューで、迂闊^{さき}な発言^{うかつ}は慎^{はつげん}むよう、念^{つつし}のためドゥバティーに釘^{ねん}を刺^{くぎ}す。

3586: フィギエは国籍^{こくせき}に興^{きよう}味^みが無^なく、どの国^{くに}の人^{ひと}とでも仲良^{なかよ}く接^{せつ}せられる。

3587: アルジェーニョをコンセプトに編曲^{へんきょく}したオルゴール^{きょく}曲^が、

オーディエンスに喝采^{かつさい}された。

3588: 母音数^{ぼいんすう}は言語^{げんご}で異^{こと}なり、日本語^{にほんご}は全部^{ぜんぶ}で五^{いつ}つだが、数^{かず}は優劣^{ゆうれつ}に直結^{ちょっけつ}しない。

3589: 狐^{きつね}と狸^{たぬき}の化かしあいをサンギエが戯曲^{ぎぎょく}化^かし、傑作^{けつさく}と格付け^{かくづ}された。

3590: ヒューブシュマンは、勝訴^{しょうそ}の判決^{はんけつ}を得たのに、まだ胸騒^{むなさわ}ぎがするのは何故^{なぜ}？

3591: 古典^{こてんてき}的な文化^{ぶんか}芸能^{げいのう}を望^{のぞ}む、ヴィドサヴリエヴィッチにお薦^{すす}めするなら、忠臣^{ちゅうしん}蔵^{くら}かな。

3592: ソーシャルディスタンスを徹底^{てつてい}したパブリックビューイングは、

盛り上^{もあ}がりに欠^かけると批評^{ひひょう}された。

3593: ナピェラルスキと朝食^{ちようしょく}を食^たべるなら、ハムとベーコンにダージリンティーだな。

3594: ヒューネマイアーに敗^{やぶ}れ挫折^{ざせつ}したブリュノーが、己^{おのれ}の殻^{から}を破^{やぶ}りリベンジ^はを果たした。

3595: ディベートの題材^{だいざい}で、ヌニエスとピツエッティがトラブリ、

チェアパーソンが場^ばを丸^{まる}く治^{おさ}めた。

3596: ペルミヤコフは、銀行^{ぎんこう}の融資^{ゆうし}でイリュージョンの催^{もよお}し物^{もの}を仕込み、

ゴボツォワはがっかりした。

3597: バキエビッチとの雑談^{ざつだん}が契機^{けいき}となり、プラットフォーム開^{かい}発^{はつ}が一気^{いっき}に進^{すす}んだ。

3598: ルテステュの家族^{かぞく}は、パイロットや実業家^{じつぎょうか}など、バラエティー豊^{ゆた}かであるな。

3599: ロンクウイロの身辺^{しんぺん}を洗^{あら}ったが、特^{とく}に怪^{あや}しまれずに済^すんだと思^{おも}うぜ。

3600: グェンダリーナは、精疲力尽^{せいひりきじん}で顔^{かお}色^{いろ}が悪^{わる}く、エナジードリンクで急場^{きゅうば}を凌^{しの}ぐ。